

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名 : 南つくし野保育園

クラス : 3~5歳児クラス オリオングループ

年間テーマ : お寿司の興味から魚の生態へ

1、活動のテーマ

<テーマ>

マグロを解体してお寿司を作ろう。

<テーマ設定の理由>

自分たちが食べているマグロのお寿司がどのようにできているかを知り、遊びを拡げていく。

2、活動スケジュール

8月~

- ・マグロとサーモンの立体パズルを環境に設置し、遊びの中で部位の名前や場所を学ぶ。

9月~1月

- ・パズルを楽しむ様子があり、今度は実物と同じ大きさのマグロを作成する。
- ・マグロを解体する方法を写真や動画を見て調べる。
- ・大きな包丁を作成し、自分たちで作ったマグロを使って解体ショーをする。
- ・保護者にも見てもらいたいとお楽しみ会で披露。

3、活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・生き物の立体パズルを購入し、保育室に設置。
- ・クリスマスプレゼントとして、マグロの解体玩具を渡す。
- ・大きなマグロを作れるよう、模造紙とジョイントマット、カラーポリ袋を用意。
- ・寿司桶、エプロンをお寿司屋さんコーナーに用意。
- ・お楽しみ会后マグロは環境に設置。

4、探究活動の実施

<活動の内容>

- ・パズルを環境に出したことで、部位の名前や場所を覚えたり、自分たちがどこを食べているのか興味を持つ姿があった。
- ・マグロを作る中で、本物の大きさを知ったり、部位によって特徴があることに気付いていた。
- ・マグロの解体には順番があったり、お寿司になるまでの工程を知ること、ごっこ遊びも拡がっていた。
- ・保護者にも調べたことを共有した。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>



魚の身体がどうなっているのかわかるようにパズルを環境に設置。すぐに興味を示し「ここはなかおちだって」名前を確認しながら挑戦していました。始めは苦戦していたものの、あっという間に組み立てられるように！

自分たちで解体をやってみよう！と大きなマグロの制作開始。「大トロには白い線があるよ」「骨はどんな感じ？」一つひとつ特徴を確認しながら丁寧に作り上げていました。解体に必要な包丁も大きいものを用意。



マグロの解体ってどうやるのかな？写真や動画で調べます。順番も覚え、みんなで役割分担をして進めていました。

お楽しみ会でも、かま・テール・大トロ・中トロと切った部位の説明と見事な包丁さばきを披露し、保護者の方からも大きな拍手！
終わってからも、友だち同士で解体ショーを楽しむ姿が見られています。

5、振り返り（振り返りによって得た保育士の気づき）

- 立体パズルに取り組む中での子どものつぶやきや気づきを、保育士間で共有し、活動を予測していくことで解体ショーへと発展していった。
- 実際に動画や写真で解体の方法を見ると、子どもたちもイメージが沸いたようで、やりたいことや作りたいものの内容が明確になっていった。作ったものを使って遊ぶ機会を作ると、やり方を自分たちで確認したり、友だち同士で教え合うなど、周りの子ども活動に参加。
- 保護者にも自分たちが取り組んできたものを発表し、学びを共有したり、面白がってくれたことで、子どもたちも達成感を味わえたと思う。また、行事が終わってからも誰でも遊べるようにマグロを環境に設置すると、やってきた子がリードしながらみんなで楽しみ、遊びは続いていたので、今後も継続しつつ、新しい活動を見つけていきたい。